

二十三回生 佐怒賀（片山）弘子

あさがおの種まきて待つそつと待つゆっくりと生きていこうと思う

ひらき直ったように咲ききるカサブランカ沈黙というさびしさにいる

おなもみの実がくつついてくる裏山に呼ばれて座る木の椅子ふたつ

いまなにかふんだ気がしてふりかえる草間彌生のドットひしめく

欲しいものフラッシュグリーンストールよ疎林のなかに鳥をかぞえる

殖えすぎた極楽鳥花に祖われて空に大きな穴のあきたり

喜寿を過ぎまして心象詠が多くなつてまいりました



極楽鳥花